

千葉大学のデザイン分野PBL実施事例と全体スキーム紹介

千葉大学 デザイン・リサーチ・インスティテュート

張 益準



CHIBA
UNIVERSITY

今日の流れ

- 01 PBL教育について

PBL教育とデザイン分野

- 02 ワークショップの区分

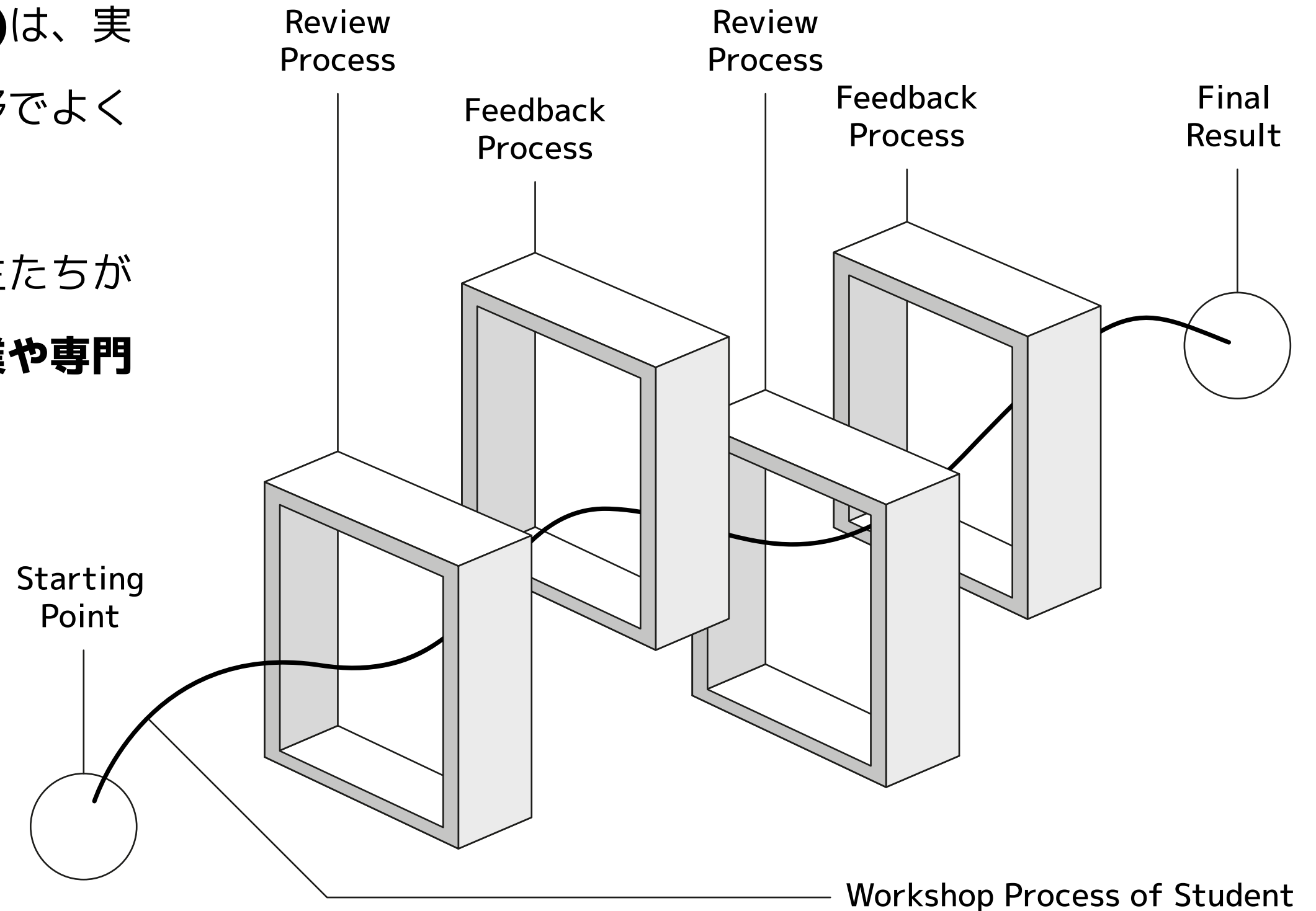
期間によるワークショップの分類

- 03 ワークショップ事例

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

01 PBL教育について

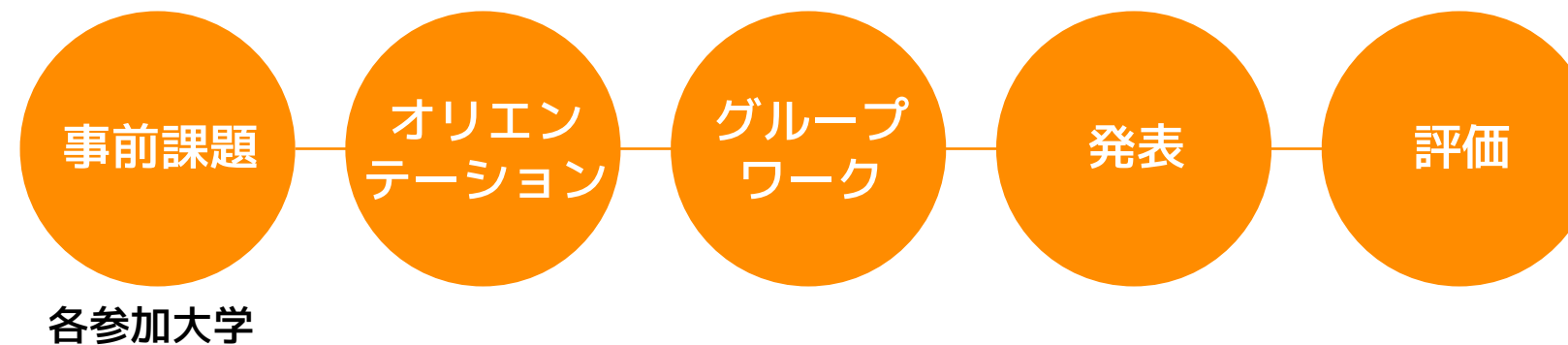
- **PBL (Project Based Learning)**は、実務と密接な関連があるデザイン分野でよく使われる教育方法
- 大学のワークショップでは、学生たちがデザインアイデアを提案し、**企業や専門家**がそれを**評価**する仕組みが多い



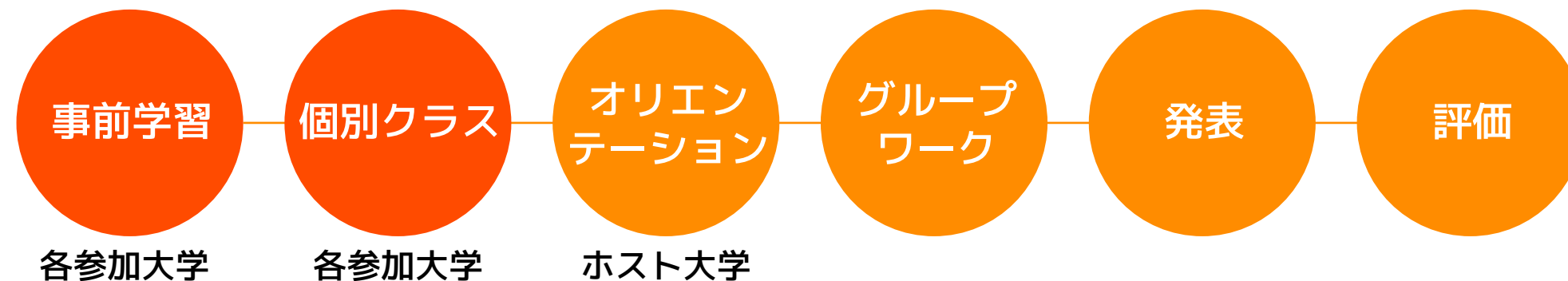
02 ワークショップの区分

- 千葉大学が運営するデザインワークショップは、期間を基準に大きく**3つのパターン**がある。

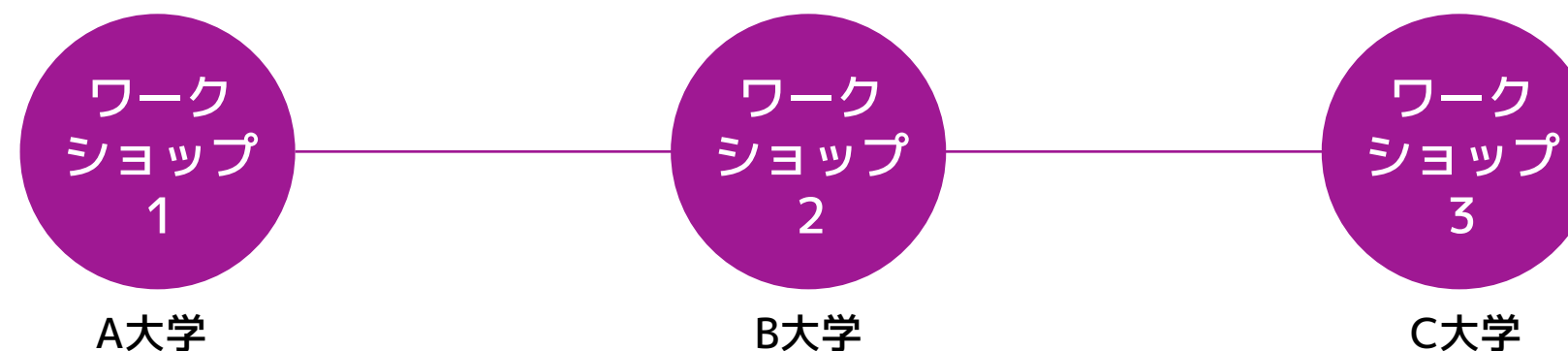
短期間で運営する
ワークショップ



事前学習を伴う
ワークショップ



2つ以上の
ワークショップを
組み合わせ



02 ワークショップの区分

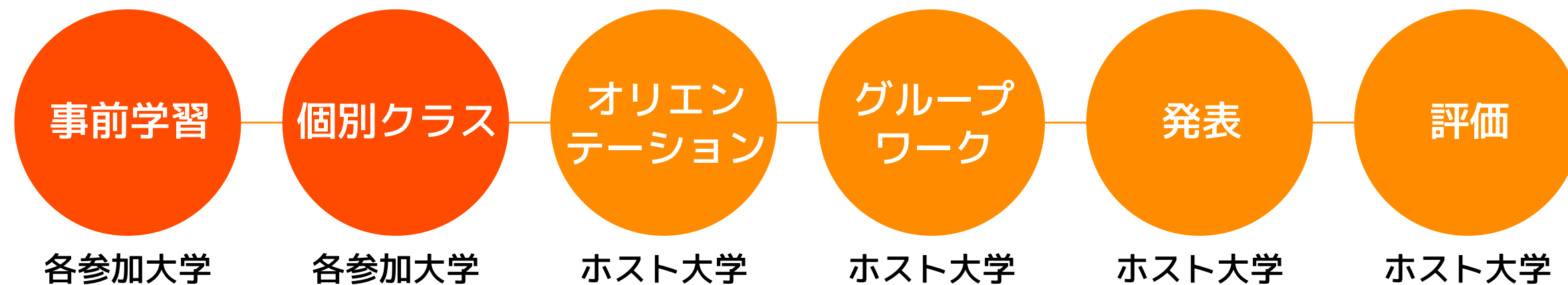
短期間で運営するワークショップ



- 短い期間に行うため、学生と教員の負担が少ない
- デザイン結果よりアイデア展開に集中
- 企業・専門家が参加するスケジュールの設定が重要

02 ワークショップの区分

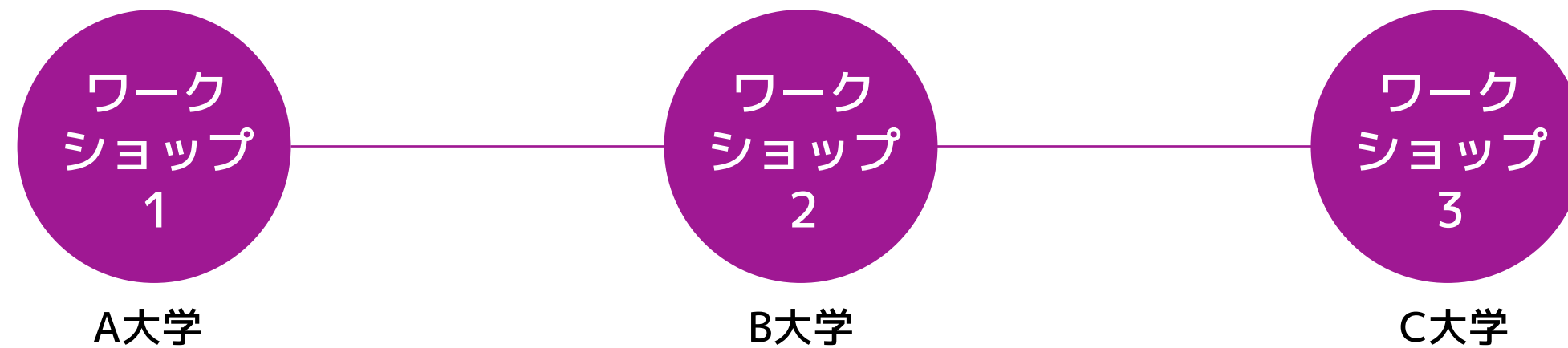
事前学習を伴うワークショップ



- 学生にはワークショップより授業として参加
- 事前課題・資料調査の時間が十分あるため、テーマに対するより深い学習が可能
- 最終結果もプロトタイプの製作が可能
- 企業または専門家にワークショップ期間前の授業・進行について情報を伝達。

02 ワークショップの区分

2つ以上のワークショップを組み合わせ



- 様々な場所で行われるため、多くの経験が可能。(例：1回目・日本、2回目・韓国)
- 同じ学生が複数のワークショップに参加することが重要。
- 環境が異なるため、テーマに対する比較学習が可能。

03 ワークショップ事例

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN



Campus
Asia
Plant
Environment innovation

- 2019年コロナ前に運営した対面ワークショップ。
- 基本情報

参加大学	千葉大学（ホスト）、延世大学（韓国）、浙江大学（中国）
------	-----------------------------

参加学生	35名
------	-----

参加先生・アドバイザー	6名（千葉大学3名、延世大学2名、浙江大学1名）
-------------	--------------------------

使用言語	英語
------	----

場所	千葉大学西千葉キャンパス・柏の葉キャンパス
----	-----------------------

参加企業	三井住友不動産
------	---------

期間	2019年2月18日-22日（5日間）
----	---------------------

03 ワークショップ事例

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

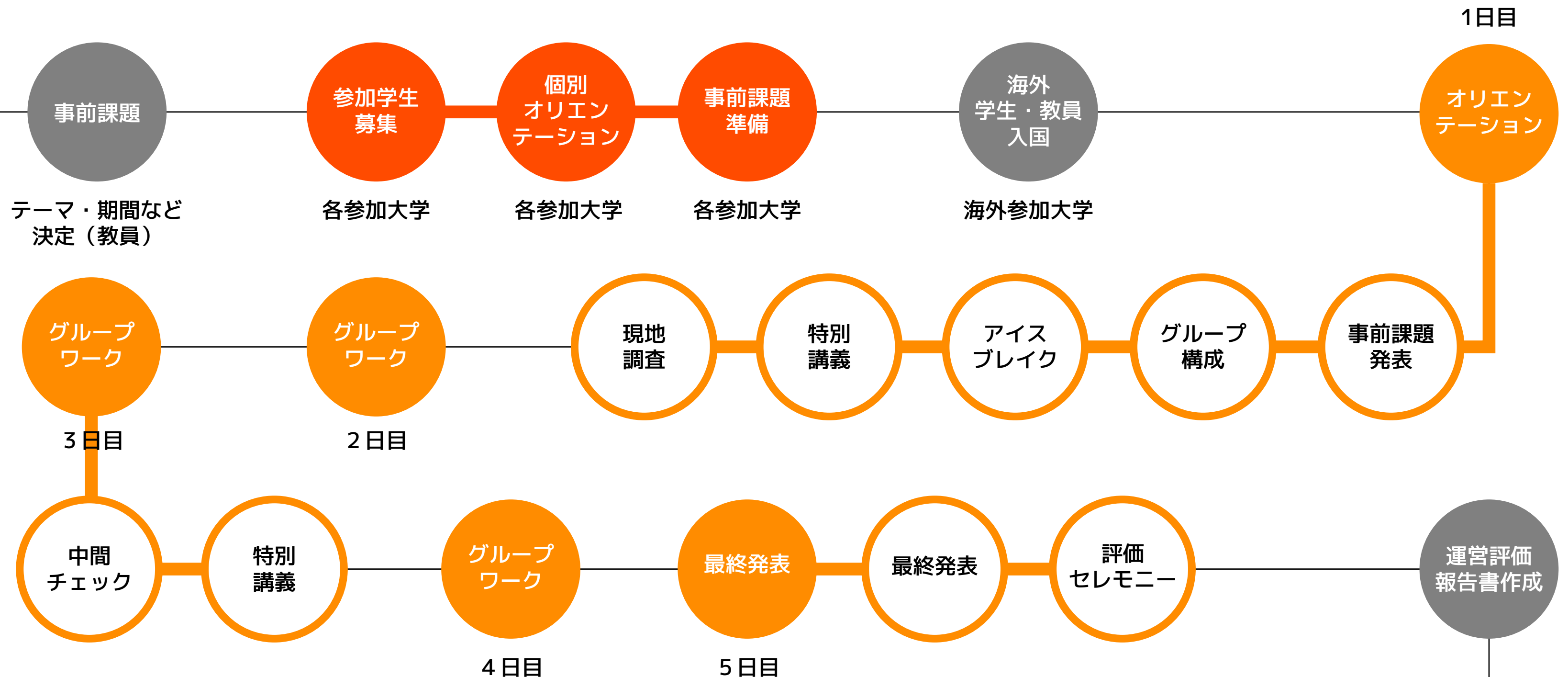
- テーマ

「**柏の葉キャンパス駅**」の周辺・地域に**緑画事業が展開できる可能性**を多様なデザイン方法を中心に考えて提案する。**未来のスマート・シティ開発**において「**緑地**」の**重要性**を考え、どのようにより「生態的」がある空間にするか、どのようにすれば人々により豊かな空間に住めるかを工夫する。



03 ワークショップ事例

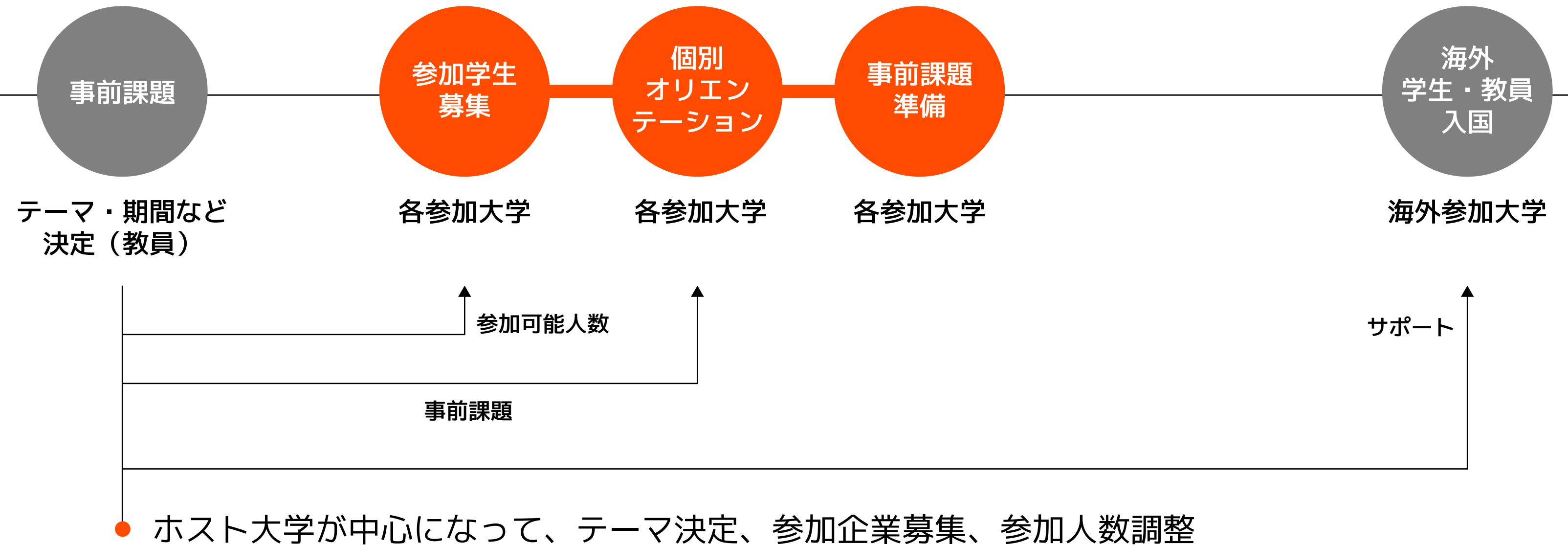
2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN



03 ワークショップ事例

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

事前準備・学習期間



03 ワークショップ事例

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

WS 1日目

オリエン
テーション

事前課題
発表

各参加大学

グループ
構成

アイス
ブレイク

特別
講義

現地
調査

現実的な問題点を感じる

- 企業・専門家講演で関連知識を学ぶ
- 現場調査・企業訪問
- コミュニケーション方法の工夫

03 ワークショップ事例

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

WS 2 日目

グループ
ワーク

- アイディアの構想
- アイディアの展開・問題点を発見
- 各大学の先生からの個別グループアドバイス・状況把握

03 ワークショップ事例

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

WS 3 日目

グループ
ワーク

中間
チェック

特別
講義

- 中間チェックは各グループが問題点・構想したアイデアについて発表
- 各先生・専門家で構成した評価者が簡単に意見交換
- テーマについて特別講義を行う

03 ワークショップ事例

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

WS 4 日目

グループ
ワーク

中間
チェック

特別
講義

- デザイン提案の作成
- 最終発表準備
- 各大学の先生からの個別グループアドバイス・状況把握

03 ワークショップ事例

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

WS 5 日目

最終発表

最終発表

評価
セレモニー

- デザインの最終発表
- 教員・企業・専門家で構成した評価者の採点・コメント
- 1位・グループを選定、受賞・セレモニーを行う

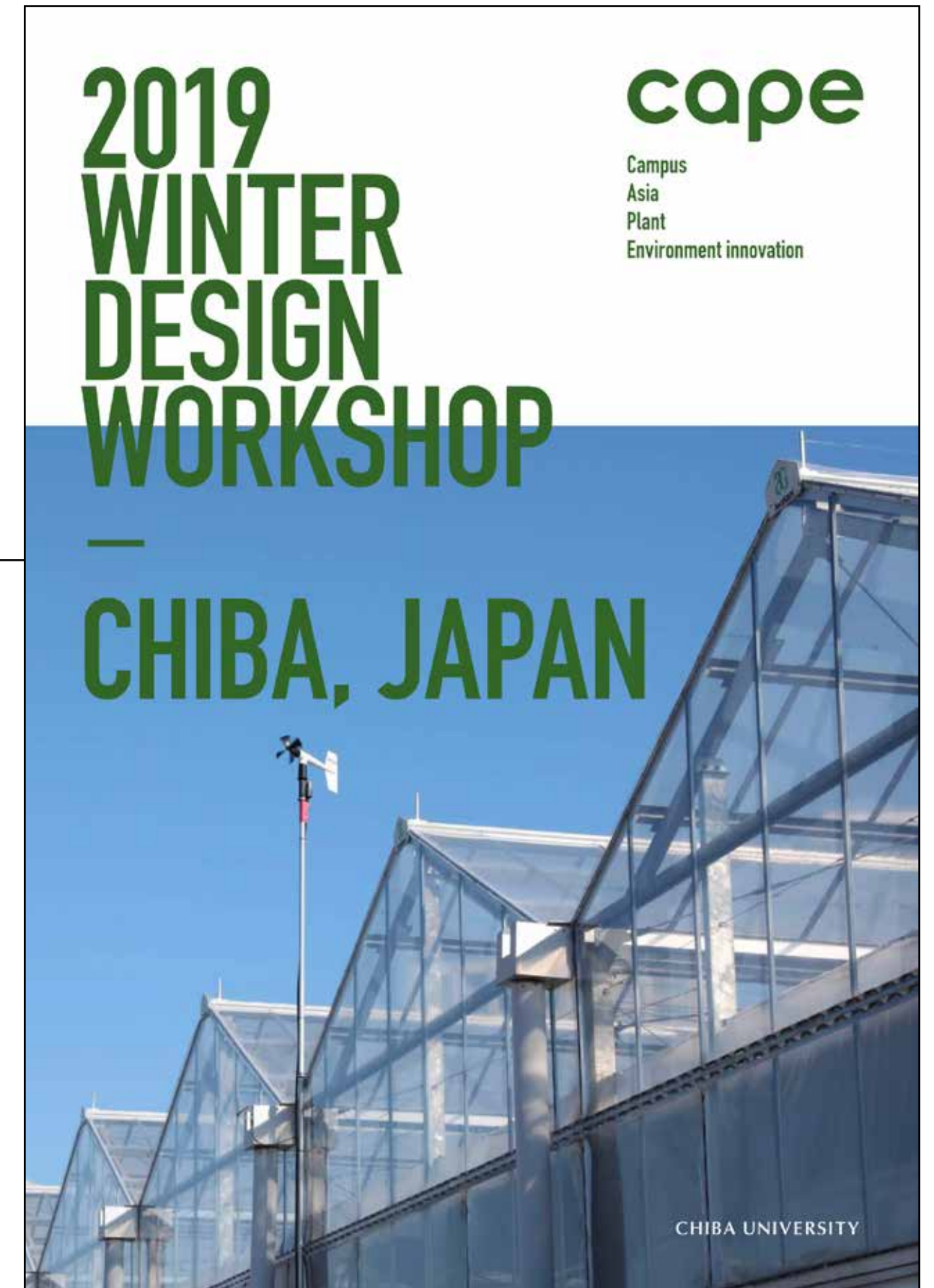
03 ワークショップ事例

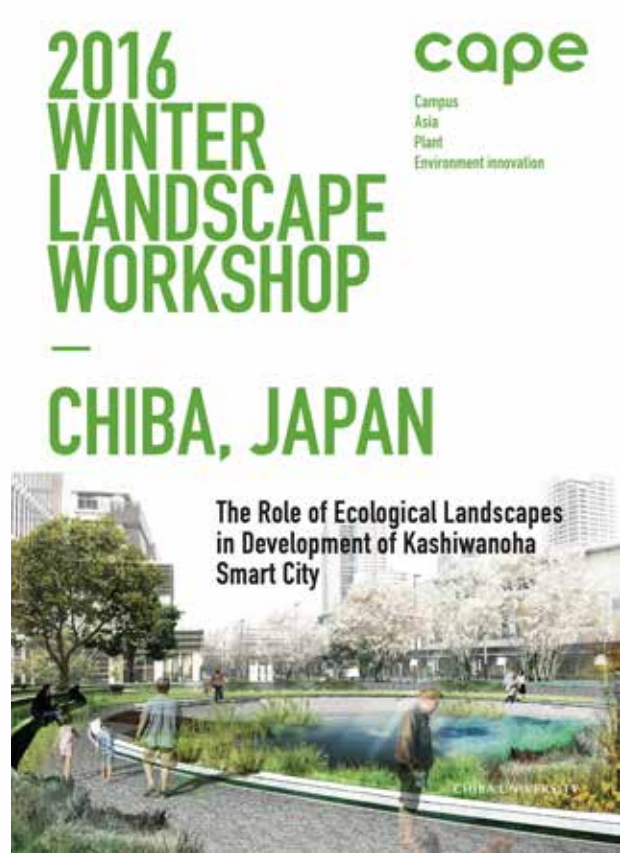
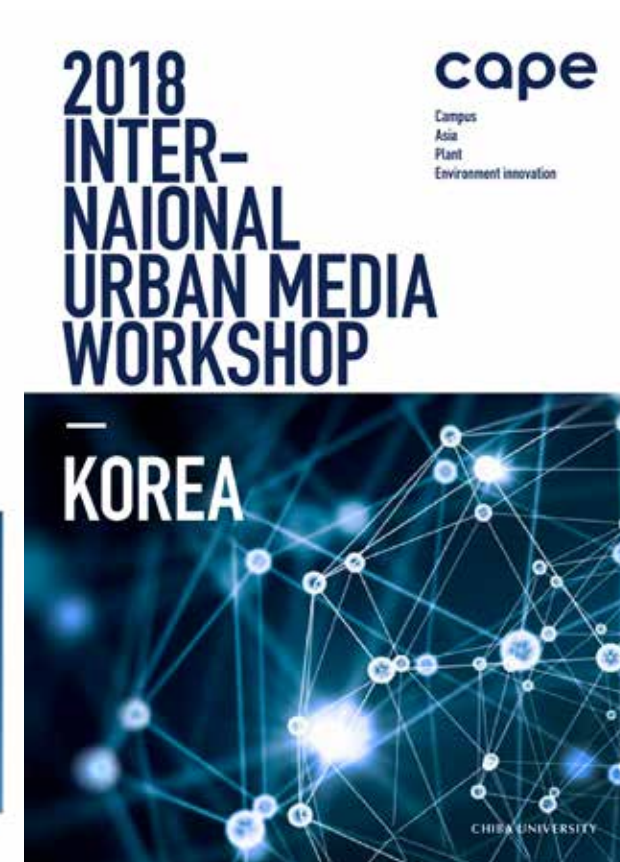
2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

WS後

運営評価
報告書作成

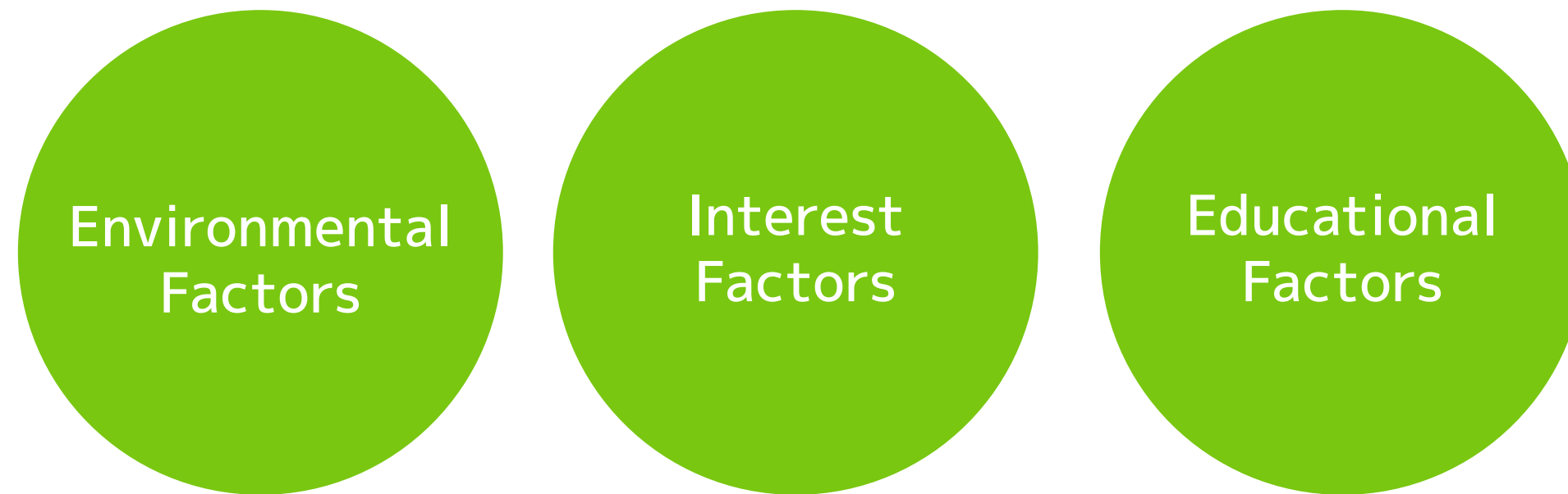
- ワークショップ運営に対する評価
- 報告書作成
- 学生満足度評価による問題点分析





03 ワークショップ事例 学生満足度評価

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

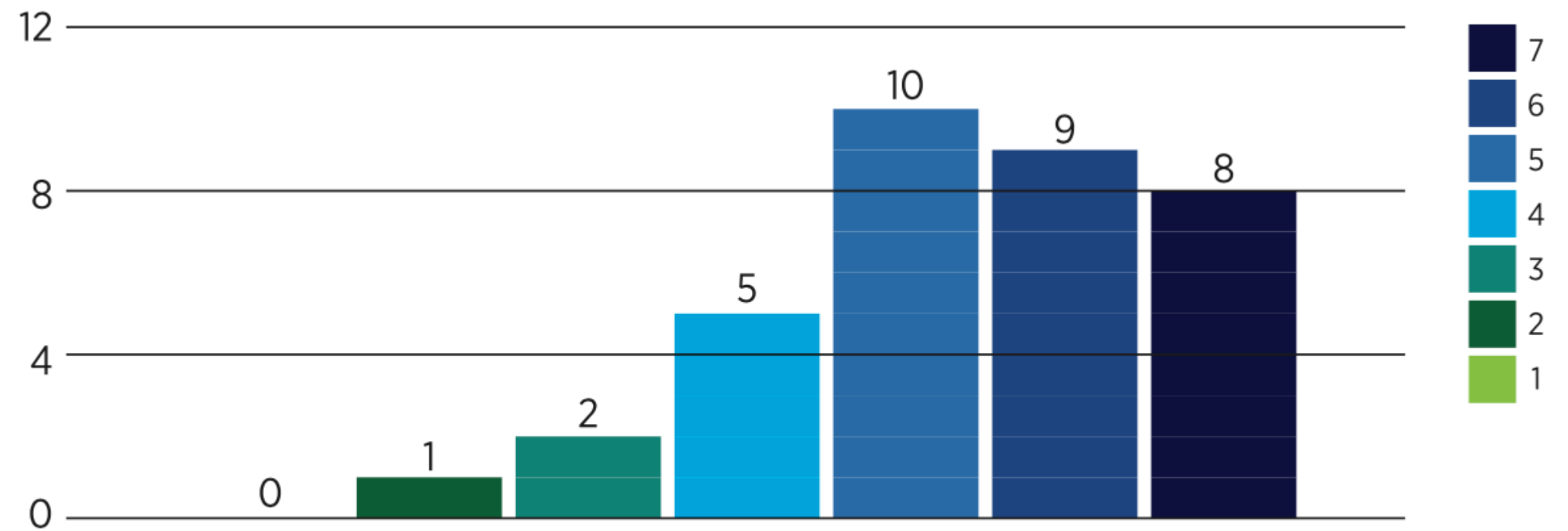


03 ワークショップ事例 学生満足度評価

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN



ワークショップ空間について



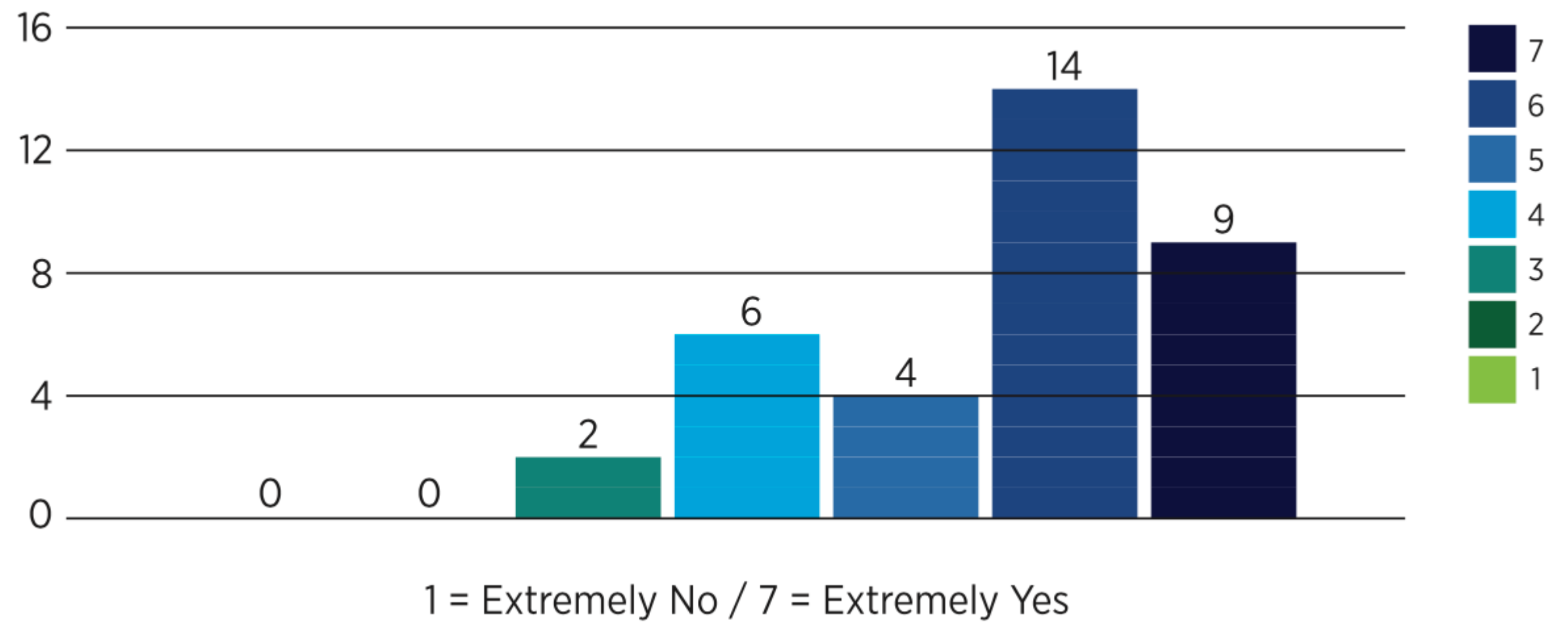
1 = Very unsatisfied / 7 = Very satisfied

03 ワークショップ事例 学生満足度評価

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

Interest
Factors

ワークショップの面白さ

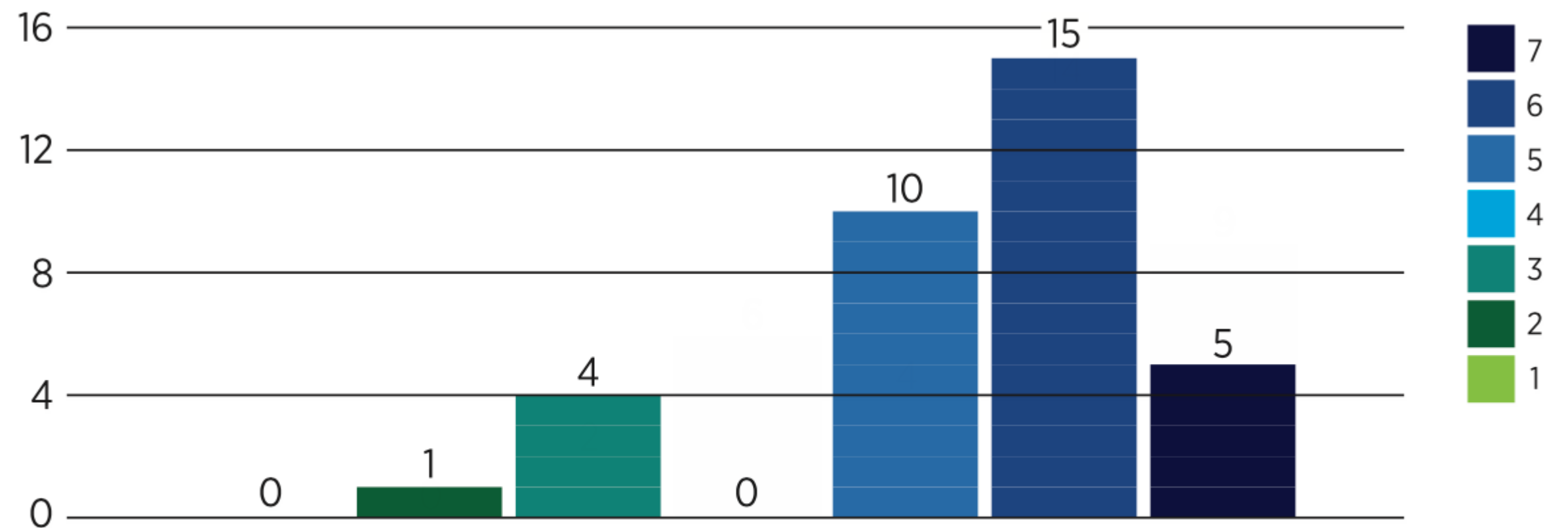


03 ワークショップ事例 学生満足度評価

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

Interest
Factors

再度参加について



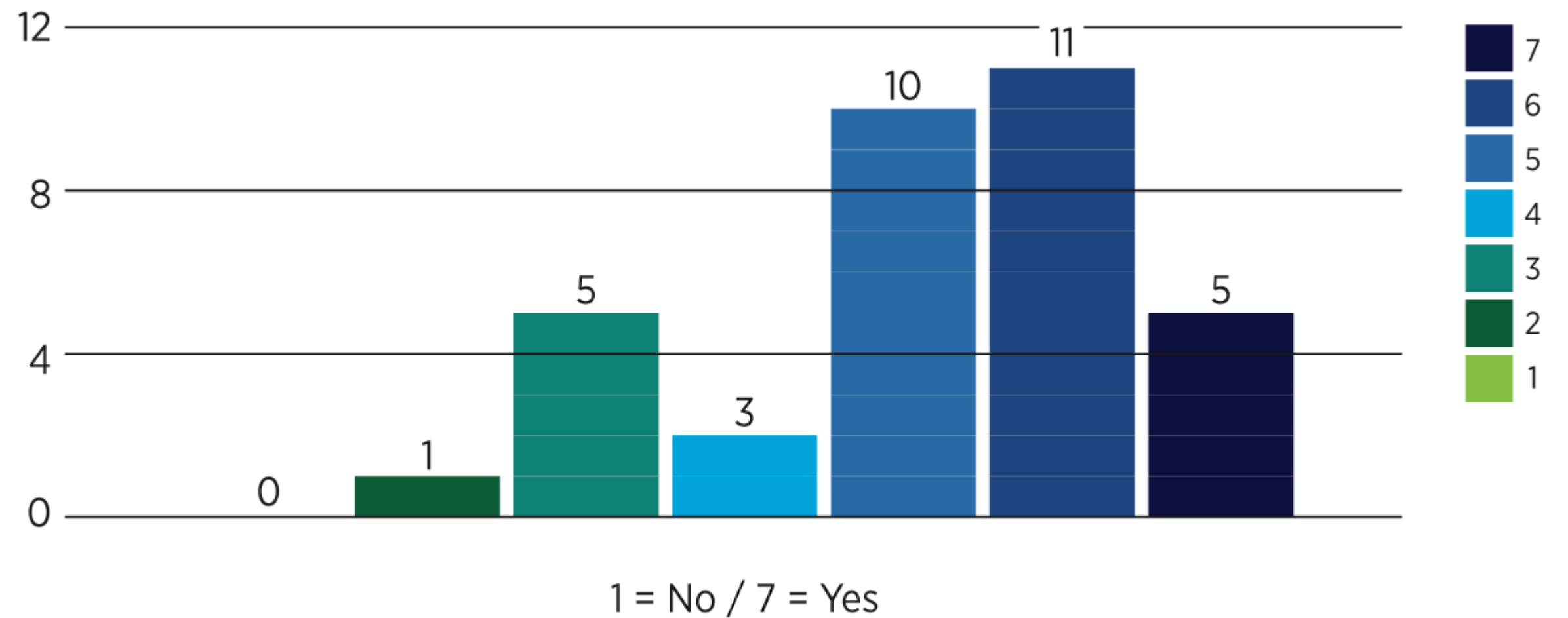
1 = Not understood at all / 7 = Very much understood

03 ワークショップ事例 学生満足度評価

2019 CAPE Winter Design Workshop CHIBA, JAPAN

Educational
Factors

英語コミュニケーションについて



ご視聴ありがとうございました